



# さかわようちえんだより～10月号～

さ:最後までがんばる子 か:感じる心をもった子  
わ:わくわくしながらチャレンジする子

令和3年9月29日  
小田原市立酒匂幼稚園  
園長 向笠 弘子

虫捕り、リレー、砂遊び、ピタゴラスイッチ、敬老の日のプレゼントづくり etc. スポーツの秋、芸術の秋等、様々な秋を子どもたちが自分たちの手で創り上げています。やりたいことを見つけ、それを実現し追求できる環境であることの大切さを感じます。

10月は、わくわくディとして子どもたちが今まで行ってきた活動を、さくら組は『チャレンジしてみよう!』、ほし組は『友達と力を合わせて!』を目指して進めています。また、ほし組は、遠足も自分たちで行く場所を決め、計画をしています。行事に向かう過程や行事を経験する中で、子どもたちが『健やかな心と体の子』『考えたことを実行する子』『助け合う子』として育つことができるよう取り組んでいきます。家庭で子どもたちが語り始めた時は、温かく受け止め支えていただきたいと思います。ご協力よろしくお願ひいたします。

## 考えたことを実行するためには…

先日、ほし組さんが6名職員室にきました。「遠足に行く場所を探しています。」「動物が触れて、お花が摘める場所を知りませんか?」という質問。早速、子どもたちが言った言葉を、パソコンに入力し検索をすると、『吾妻山公園』が出てきました。子どもたちは画面に出てきたコスモス畑に「わ～!」という歓声。「名前忘れちゃうかも…」ということだったのでメモに書き渡しました。早野先生から、わんぱくランドというアドバイスをもらった子どもたちは再び職員室に戻って来て、「動物いる?」と尋ねたので園内地図を渡しました。何をしたいか話し合い、場所について必要な情報を集め、友達と相談をして決定する、この一連の流れの中で、『考えたことを実行する力』が育っています。その他にも、『人の話を聞いて理解する力』『わかるように相手に伝える力』どの力も、就学してから必要な力です。これからも、様々な場面で、子どもたちが園生活に必要な情報を収集しようとする場面があると思います。ご家庭の協力を仰ぐこともあると思います。今後も、是非子どもたちの話に耳を傾け、一緒に考えていただけたらと思います。ご協力、よろしくお願ひいたします。

## 誰かのために♡

今年の夏は雨が多く、そして太陽も程よく出て、植物が育つには、最高の環境だったようです。『そだてやさん』の畑も例外ではありません。コロナ禍で、夏休み中のグリーンボランティアを中止しましたが、雑草がなくなり、作物が生き生きと育っているのは、どうしてでしょう?それは、職員だけでは手に負えず、畑を貸して下さっている方が暑い夏の日に草刈りをしてくださったり、前用務員の柳川さんが気にかけて協力してくださったりするおかげです。また、先日持ち帰った冬瓜は、畑の先生の鈴木英雄さんが、「冬瓜できたから持ってきたぞ!」と言って、大きな重い冬瓜を子どもたちのために持ってきてくださったものです。地域の方が、子どもが来ている時も来ていない時も、『子どもたちのために!』と、協力してくださっています。『助け合う子』の根底にある『誰かのために♡』というお手本を見せてくださっています。子どもたちの中に同じような思いが根付き、将来『誰かのために♡』と、行動できる人になってほしいと思います。

**さくら組10月のおだわらっ子の約束**  
人の話をきちんと聞きます

**ほし組10月のおだわらっ子の約束**  
優しい心でみんなと仲良くします  
もったいないことをしません